# 平成２８年度　旭ヶ丘小学校グランドデザイン

### 地域の特性
○狭い校区、新設の学校、4つの造成団地と古くからの集落の融合
○様々な人達が集う町で人材は豊富
○地理的にも地域住民の意識も凝集性の高いまとまりある地域

### 子どもたちの実態
○明るく素直で活動が好きな子どもたち
○与えられた役割を果たすことができる
□時と場に応じて、自分で判断して実行する力をさらに伸ばしたい
□自ら望ましい人間関係づくりができる力

### 前年の評価
・平均的な体力。筋力や柔軟性が高い。
・落ち着いて授業に取り組んでいる。
・安定した学力傾向。自分の考えや思いを話せる子どもが増 えている。
・活用する力をさらに伸ばしたい。

PLAN

### 〈保護者・地域の願い〉
・明るく楽しい学校
・4つの精一杯に安心して挑戦できる学校
・子どもや保護者に寄り添い何でも相談できる学校

### 〈目指すこどもの姿〉
・自分の全てを出し切って努力するやる気のある子ども
・互いに認め合い、自他の存在を尊重し合う子ども
・正しく自らが励み、粘り強くやり抜く子ども

### 〔学校目標〕
**精一杯　自分の花を咲かせよう**

### 〔具体目標〕
**～4つの精一杯に挑戦しよう～**
・勉強に　力いっぱい
・運動に　元気いっぱい
・奉仕活動　汗いっぱい
・みんな仲よく笑顔いっぱい

### 学校長の経営指針
1「信頼を築く学校」
・学校力（組織力）の向上
・開かれた学校
・コンプライアンス
2「児童一人ひとりを大切にする教育」
・学力体力の向上と豊かな心の育成
・生徒指導の充実
（自己指導能力の育成）
・特別支援教育の充実
（この子の自立を支える支援）

DO

### 平成28年度　重点

## 具現化するための活動

### 人権教育の領域から

**〔自他の尊重〕**

**1 人権教育を基盤とした学級づくり**
・教師自身の人権感覚振り返り
→日常的な研修
・「いじめ防止等のための基本方針」に基づく職員研修
・QU検査の実施と職員研修
・教育相談の充実
・体験的参加型学習の実施

**2 人権感覚の醸成と道徳性の向上**
・人権学習月間の取り組み
・性教育、道徳学習
・花を育てる心の育成、飼育の活動
・認め合い響き合う関係づくり

**3 基本的な生活習慣づくり**
・あいさつ、清掃、給食、マナー
言葉づ かい、明るい歌声等
・子ども達が自らつくる集団のきまり

### 教科等の活動領域から

**〔学力向上策〕**

**1「分かる授業」づくり**
・3観点（ねらい・メリハリ・見届け）
・考え合い伝え合い学び合う授業
→言語活動の充実
→確かな見届け
・家庭学習の充実
→すすんで学ぶ子どもの育成

**2 授業のユニバーサルデザイン化**
・学習環境の整備と学習習慣づくり
・個別指導・支援
・視聴覚教材の活用
・板書の工夫と分かりやすい発問

**3 基礎基本の定着**
・NRT検査の実施と課題把握
・暗唱活動、音読、ドリル
・「補習」時間の設定・活用
・見る、聞く、書く、話すの基本学習

**4校内研修の実施**
・授業のユニバーサルデザイン化
・家庭学習力の向上

### 特別活動等の領域から

**〔個性と社会性の伸長〕**

**1「生活のめあて」を柱にした予防開発的な生徒指導**
・運動会、音楽会、読書、健康教育・食育、人権学習など
・誇れる学級づくり（中核活動）

**2 自分たちでつくる学年・学級行事**
・社会見学、遠足、修学旅行等

**3 児童会を通した自治への取組み**
・規範意識の向上、生活の見直し

**4 地域・保護者との連携活動**
・地域とともにある学校づくり
→旭ヶ丘コミュニティスクール推進
・地域ふれあい教室、すこやかさんとの交流、クラブ等

**5 奉仕活動への取り組み**
・清掃活動、車椅子の寄贈、銀杏並木の美化、JRC、資源回収など

**6 学年の枠を超えての取り組み**
・体育集会、音楽集会、町別、なかよし班、姉妹学級など

CHEC

### 行事の学年学級・係反省
1　授業参観での授業評価
（主事、保護者、教員、児童）
2　各行事の終了後の反省
3　運動会と音楽会の感想
4　学校・学年だよりの継続

### 学校評価アンケートの実施
1 子どもによる学校評価
2 保護者による学校評価
3 全職員による学校評価

教員支援シートの目標設定

### 客観的データ調査の分析
（授業改善の検証方法）
1　NRT・PDCA・全国学力調査
2　全国体力測定実態調査
3　学級満足度調査(Q-U)
4　学校保健調査統計結果
5 状況に応じた実態調査 等